

令和3年度 国家予算に対する提案・要望

【報告】

令和3年度国家予算に対する提案・要望について（水道局関係分）



神戸市

提案・要望項目

Ⅰ 新型コロナウイルス感染症対策項目

- Ⅰ. 地方自治体の取組みに対する財政支援の充実
- Ⅱ. 感染拡大防止策の強化
- Ⅲ. 市民生活を守るための取組みの推進
- Ⅳ. 神戸経済への影響を踏まえた支援策の充実

Ⅱ 重点項目

- Ⅰ. 地方創生・人口減少社会への対応
- Ⅱ. 陸海空の広域交通結節機能の強化
- Ⅲ. 都心・三宮再整備の推進
- Ⅳ. 神戸医療産業都市の推進
- Ⅴ. 神戸観光の推進
- Ⅵ. まちの活力の創出
- Ⅶ. 安全・安心なまちづくりの推進
- Ⅷ. 子育て・教育環境の充実
- Ⅸ. 保健・福祉・医療の充実
- Ⅹ. 真の分権型社会の実現

Ⅲ その他項目

- Ⅰ. まちの活力の創出
- Ⅱ. 安全・安心なまちづくりの推進……………P.2
- Ⅲ. 子育て・教育環境の充実
- Ⅳ. 保健・福祉・医療の充実
- Ⅴ. 真の分権型社会の実現

II. 安全・安心なまちづくりの推進

»厚生労働省、経済産業省

3) 社会インフラの強靱化による安全・安心の確保

○ 上水道・工業用水道施設・管路の計画的な老朽化対策にかかる財政支援の拡充

- 上水道事業は、市民生活及び都市の生産活動に不可欠な都市インフラだが、先の熊本地震などにおいて甚大な被害を受けており、水道施設の災害対策を推進していくことが急務となっている。また、高度経済成長期に布設された配水管の更新需要が今後急増する見込みであるため、より一層老朽管の更新に取り組んでいく必要がある。
- また、工業用水道施設についても供用開始が昭和 39 年と古く、特に大正から昭和初期に布設した上水道管を転用した基幹管路を中心に経年化が進んでいる状況である。
- 近年、節水型社会の進展や人口の減少などにより水需要が低迷し、給水収益が減少傾向にあるなか、より一層の更新・耐震化を図る必要がある。
 - ・生活基盤施設耐震化等交付金について、引き続き国において十分な財源の確保
 - ・工業用水道にかかる改築事業の補助率について、緊急更新・耐震化事業と同様の補助率（1/3）への引上げ
 - ・基幹水道施設の耐震化事業における水管橋（下部工含む）の耐震化事業への対象の拡大